

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調書

5-III-4

5-III-4

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	広域周遊ルートの検討
節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信	事業主体	県国際観光推進課
事業(施策)名	4 広域周遊ルート普及促進	関連団体	新潟市観光振興課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産を核に、多様な県内周遊ルートや近県を含めた広域ルートの設定により、全県的な魅力発信を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産を核に多様な県内・県外の周遊ルートを設定し、広域旅行商品の造成支援を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産を含めた広域周遊ルートの認知度向上、及び旅行商品造成数の増加 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点ではインバウンド再開が見通せない状況であり、また仮に再開された場合においても対象国や国際航空路線は段階的に回復していくと予測されることから、定量的なゴールは設定しない。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 近隣県や首都圏自治体等と連携しながら、台湾や香港などの海外メディア招請や、共同WEBサイト及び現地メディア等を通じた情報発信、旅行博出展やAGT訪問等の現地セールスプロモーションなど、認知度向上と誘客促進に向けた取組を重層的に展開した。 <p>【これまでの主な取組(抜粋)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都との連携による香港メディアの現地招請、共同WEBサイトによる情報発信 ● 会津若松市、新潟市、佐渡市との連携による台湾メディア活用キャンペーン開催、KOL招請 ● 関東地方、長野県、福島県との連携による広域周遊ルートの開発、タイ旅行博への出展 ● 東北地方との連携による広域周遊ルートの開発と共同WEBサイト等による情報発信 ● 山形県との連携による台湾、香港、東南アジア向けメディアの招請及び情報発信 		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡市、新潟市、燕三条地場産業センターとの連携事業 FIT(個人旅行者)が多いシンガポール市場において、有カインフルエンサーを招請し、佐渡市、新潟市及び燕三条地域におけるドライブ旅行の魅力発信する。 ● 北陸新幹線沿線県等との連携事業(石川県、富山県、岐阜県、福井県、滋賀県、長野県、群馬県、埼玉県、東京都、JR東日本、JR西日本等) 連携特設ウェブサイトにて情報発信を行う。 ● 東京都との連携事業 東京都との共同ウェブサイトにて情報発信を行う。 <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡市、新潟市、燕三条地場産業センターとの連携事業 シンガポールの在留インフルエンサー招聘事業において、北沢浮遊選鉱場などの佐渡金銀山関連施設を巡るドライブ旅行動画を制作し、HPやSNSを通じた情報発信を実施した。 ● 北陸新幹線沿線県等との連携事業(石川県、富山県、岐阜県、福井県、滋賀県、長野県、群馬県、埼玉県、東京都、JR東日本、JR西日本等) 特設WEBサイト(New Golden Route)において、佐渡金銀山の情報発信を実施した。 ● 東京都との連携事業 共同WEBサイト(HOKURIKU×TOKYO)において、佐渡金銀山の情報発信を実施した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 訪日旅行の再開及び佐渡金山の世界遺産登録を見据え、佐渡を含めた本県への外国人旅行者の来訪を促すため、近隣県等との連携による観光コンテンツの継続的な情報発信等を通じた認知度向上に取り組む必要がある。 ■ 国際線の早期復便が見込まれる首都圏空港(羽田・成田空港)からの誘客を進めるため、関東や東北、北陸の新幹線沿線地域にある近隣県等と連携して、多様かつ魅力的な広域周遊ルートの開発を行うとともに、旅行会社等への提案等プロモーション活動を強化する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 他県との連携による広域周遊ルートの普及促進に取り組む。 特に訪日旅行再開後に増加すると見込まれる、羽田・成田空港や新幹線を利用するFIT(個人旅行者)やSIT(特別な目的の旅行者)をターゲットとした、在日インフルエンサーやOTA(旅行ウェブサイト)等を活用した情報発信やプロモーション活動の強化に取り組む。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、約2年間にわたって訪日旅行の制限が続いていることから、定量的なゴールは設定していないものの、訪日旅行制限下においても、在留インフルエンサーを活用した動画配信や近隣県との広域周遊ルートのPRなど、海外向けの情報発信を継続的に実施しており、これらの取組がインバウンド再開後における本県来訪者数の増加に繋がると考えられることから、【事業評価】をB(概ね予定どおり)とする。</p> <p>[A・(B)・C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。